

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 岡山市立上南中学校 (※正式名称を記載)
種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}
 中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校
 教員養成大学 専修学校、各種学校
 特別支援学校
 その他 (例：小中高一貫)
所在地 〒704-8196 岡山県岡山市東区金田722番地
E-mail jonanc@city-okayama.ed.jp
Website _____
幼児児童生徒数 男子 73名 女子 72名 合計 145名
幼児・児童・生徒の年齢 12歳～15歳

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

※報告書提出時点～平成30年3月末までの活動は、予定(見込み)として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

本校の学校教育目標は「支え合う集団の中で、自分を向上させようとする生徒の育成」である。小学校から取り組んできたESDの学びを生かしながら、地域の特徴やすばらしさを再確認し、生徒の見方や考え方を広げていけるように、3つのプロジェクトを中心として活動に取り組んだ。それは「地域学習プロジェクト」「平和学習プロジェクト」「人権学習プロジェクト」である。本校は生徒数も少なく、学校全体が一つになって取り組むことができる。また、地域の方や上級生・下級生の仲も良い。しかし、課題として「自分で考え、判断する力」が乏しいことが挙げられる。本プロジェクトを通して、主体的に物事を考え行動できる生徒を育成したいと考え、活動を行った。

① 地域学習プロジェクト

4月は各学年ともに研修に向け、自然・文化・歴史を中心に地域調べをし、学年発表会を行った。第1学年は5月に犬島研修をし、豊かな自然に触れ、環境について考えを深めることができた。また、「上南の農・漁・歴史」というテーマで地域の方々からお話を伺い、上南学区をより住みやすくするためにはどうすればよいか意見をまとめ、文化祭で提案することができた。

第2学年では、広島の特産品や方言、観光地などについて調べた。班別自主研修で班ごとに立てた計画をもとに名所や食文化に触れることができた。

第3学年では、九州修学旅行を通して九州の文化に触れた。班別研修でカステラ作りやビードロ作りといった伝統文化の体験をしたり、市内観光を行った。また、唐津での民泊を通してそれぞれの家庭で岡山とは違う文化を体験することができた。

事後学習として学年ごとに新聞を作成し、9月に行われた文化祭で展示した。

②平和学習プロジェクト

主に第2、3学年を中心に取り組んだ。第2学年では、広島研修の事前学習として第二次世界大戦についての学習を行った。実際に広島の地で市内に残る戦跡や資料館を見て回り、現地ボランティアの方々から講話をしていただく中で、戦争の悲惨さについて知り、平和の尊さを考えるきっかけとなった。また9月の文化祭で戦争と平和をテーマとした劇を上演し、自分たちの学びを他学年や保護者に伝えた。第3学年では長崎で平和集会を行い、平和の尊さを改めて考えることができた。2年時より平和学習をしてきたが、広島と長崎の原爆を比較したり、岡山空襲と被害の違いを比較したりし、平和学習のまとめをした。

③人権学習プロジェクト

主に第1学年を中心に行った。中学校に入学し、新しい仲間が増えると同時に互いにすれ違い、認め合えない場面も見られる。そこで、道徳や学活の時間も含めて思いやりの人権学習を行った。また、地域学習プロジェクトを行った時に、学区にはお年寄りが多く住むことを知ったので、障害を持った方だけでなくお年寄りの目線から高齢者疑似体験や車いす体験をし、住みやすい町づくりについて考えを深めることができた。



① の写真 (キャプション)



② の写真 (キャプション)



③ の写真 (キャプション)

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input checked="" type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input checked="" type="checkbox"/> 5. その他(夏季休業中)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校では各学年で計画を立て、総合的な学習の時間を中心に活動を行っている。「地域学習プロジェクト」では、地域の方に直接お話しを伺う機会を設け、生徒自身で課題を見つけ、考え、発表する場を設けるようにしている。「平和学習プロジェクト」では、実際に研修で広島や長崎を訪れ、現地で平和学習を行っている。こうした活動を取り入れることによって、主体的に物事を考えられる生徒を育成できると考え、指導に当たっている。本校では毎年9月に文化祭を行っているが、それをESDの活動発表の場と位置付け、保護者や地域の方、他学年生徒へ発信できるようにしている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

毎年年度初めに、職員会議の場で前年度各学年で取り組んだ内容を紹介するようにしている。そして係会を設け、各学年の代表を中心に、本年度の活動計画を立てるようにしている。また、年度末には職員研修においてESDで取り組んだことや次年度に向けての課題点などを学年団で話し合い、発表するようにしている。担当者としては、今年度の活動報告書を作成し、全教員に資料の配布を行った。本校は「地域プロジェクト」「平和学習プロジェクト」「人権学習プロジェクト」の3つを柱とし、特色を生かした実践ができるよう努めている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

文化祭をESD活動の発表の場と位置付けており、当日来られた方のアンケートには「調べ学習も年々良いものになってきている」「中学生が普段どんな活動をしているかがわかった」などの意見が多く寄せられた。また、当日のステージや展示の写真を職員室前に掲示しており、当日参加されなかった保護者のにも見ていただくことができた。課題としては、「せっかくの取り組みなので、もっと多くの方に知っていただく方法はないか」という声も聞かれた。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

本校では、文化祭をESD活動発表の場と位置付けている。ステージ発表の部と展示発表の部とがあり、ステージ発表ではスライドを作成して発表したり、平和を訴える劇を上演したりしており、展示発表では取り組んだ内容を模造紙にまとめて展示している。また、地域の公民館への展示も行っている。こうした活動は保護者や地域の方に見ていただけるので、生徒も意欲的に活動に取り組んでいる。また、今年度は「岡山こどもESDフォーラム」へ参加し、学区を超え幅広い世代の方に活動を紹介することができた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

本校の掲げるプロジェクトに「地域プロジェクト」がある。これは生徒が課題を設定し、それに基づいて地域の方との交流の場を設定する。本年度は「上南学区の農・漁・歴史」というテーマを設定し、地域で農業や漁業をされている方やインタビューを行ったり、一緒に地元食材で料理をしたりした。上南公民館に相談し、地域の方と中学生をつなぐパイプ役をしていただいた。また、昨年度より二年生の短歌の授業で地域の方を特別講師としてお招きし、生徒の意欲向上につながっている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

昨年度は広島女学院の生徒とスカイプを通じて交流を図ることができたが、今年度は日程の都合が合わず実現しなかったのが残念である。しかし、準備や設定などについて、どうしても担当者まかせになってしまう傾向があるため、国内外のユネスコスクールと積極的に交流していくのであれば、校長先生はじめ学校の教職員が一丸となって早い段階で計画を立てて議論していく必要があると思う。これに関しては担当者個人で決められないので難しい課題である。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

本年度の3年生が、3年間行ってきたESD活動について中国地区内ESD推進団体顕彰をいただいた。本校が行ってきた取組は決して大がかりなものではなく、どの学校でも取り組める内容である。1年次に人権や地域について学び、2、3年時に平和学習を中心とした活動を行ってきた。今後もこのような活動を継続させ、個性を認め、仲間と支えあっている生徒の育成をしていきたい。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

今年度までの流れを踏襲しながら、改善できる点を改善し、新しい取組にも挑戦していきたいと考えている。「地域プロジェクト」「平和プロジェクト」「人権プロジェクト」という3つの柱についてはそのまま継続させ、本校生徒がESDで取り組んでいることをもっと多くの人々に伝えていく活動を入れていきたい。例えばホームページの更新をこまめに行う、公民館のイベントなどに参加し、上南中学校の取組を紹介するなどが考えられる。